

事務事業名		地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	05 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	18 市民生活に身近な安全の確保		区分	
	基本事業名	03 防犯対策の推進		単年度繰返	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	教育委員会事務局学校教育課		【開始年度】	
	課長名	佐藤 和生		平成18 年度～	
	係名	学務係	電話	0192-27-3111	
	担当者	佐々木 淳	内線	273	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
<p>小学校児童の登下校時における安全確保をより一層図るため、防犯に関する知識を有する人をスクールガード・リーダーとして委嘱し、市内全小学校の巡回指導と安全管理評価を行う事業。</p> <p>また、「地域で子どもたちを守る」という意識の高揚を図ることを目的として、スクールガード養成講習会を開催する。</p> <p>主な業務は次のとおり。①スクールガード・リーダーの委嘱、②リーダーの活動報告の確認、③報償金の支払い(毎月)、④講習会の開催(会場確保、講師依頼、資料作成、当日の運営等)、⑤県教育委員会へ事業完了報告書提出、⑥県交付金(21年度から県補助金)の受領 等</p> <p>事業費は、スクールガード・リーダーの報償金、消耗品費として支出される。</p>				E 一般	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)				総投入量(千円)	
				事業費	国庫支出金
				財源内訳	都道府県支出金
					地方債
					その他
					一般財源
				事業費計(A)	0
				人件費	正規職員従事人数
					延べ業務時間
					人件費計(B)
					トータルコスト(A)+(B)
					0
					0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位	
2名をスクールガード・リーダーとして委嘱し、市内全小学校の巡回指導を行った。 ※実施する予定で進んでいた講習会が講師の新型コロナウイルス感染症感染等により中止とした。	ア	巡回日数(年間)/人	日
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ	巡回時間(年間)/人	時間
前年度と同様の内容で事業を実施する。	ウ	講習会の開催数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
市内全小学校の児童(5月1日時点)	名称	単位	
	カ	市内小学校の児童数	人
	キ		
	ク		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
登下校時に安全に通学・帰宅できる。	名称	単位	
	サ	年間登校日数に占める巡回日数の割合	%
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	シ	講演会への参加者数	人
身近な地域で防犯活動が行われている 犯罪を起しにくい環境になっている	ス		

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	172	176	172	174	174	174	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費	事業費計(A)	千円	172	176	172	174	174	174	
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300	300	
		人件費計(B)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,372	1,376	1,372	1,374	1,374	1,374	
⑤活動指標	ア	日	32	32	32	32	32	32		
	イ	時間	128	128	128	128	128	128		
	ウ	回	1	1	1	0	1	1		
⑥対象指標	カ	人	1,425	1,407	1,375	1,344	1,400	1,400		
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	%	16	16	16	16	16	16		
	シ	人	28	24	22	0	25	25		
	ス									

事務事業ID	1275	事務事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	学校管理下における児童が被害者となる事件・事故が大きな社会問題となってきたことから、平成18年度において、文部科学省からの委嘱を受けた県が交付金事業(10/10)、21年度から補助事業として県内市町村で当該事業を実施することとなった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成18年度に開始した事業であり、例年声掛け事案や不審者等の出没情報がある。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特に寄せられていない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 児童の安全確保を目的とする防犯対策事業であり、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 文部科学省からの委嘱を受けた県の交付金事業(21年度から補助事業)である。また、登下校時及び学校施設内における児童の安全確保に関する事業であり、学校管理下での事故防止は学校設置者たる市の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市内小学校の全ての児童を対象としており、適切である。登下校時に学校周辺等を巡回指導する事業であり、意図を限定・拡充する必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 事業費が限定されていることから巡回日数等を増やすことは困難であり、向上の余地は無い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 文部科学省からの委嘱を受けた県の交付金事業(21年度から補助事業)であり、県内市町村が足並みを揃えて実施する必要がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 県の交付金事業(21年度から補助事業)として、最小経費で執行していることから削減の余地は無い。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 1名の担当職員が事務処理をしている事業であり、人件費の削減余地は無い。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市内全小学校の児童を対象として巡回指導を行っている事業であり、特定の受益者に偏っていない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	本事業については適正に進められており、今後も現状維持で進めていく。